

令和7年度事業報告

1 概要

令和7年度、瀬戸市シルバー人材センターでは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づき、本センターを活力ある高齢者の地域活動拠点として位置づけ、健康で働く意欲のある高齢者の多様な就業ニーズに応じ、積極的な事業展開と地域貢献を果たしてまいりました。

また、センター事業は、令和7年度から始まった「第2次中期計画」に基づき、「経験を力に、地域を笑顔に」をスローガンとし、「就業機会の確保」「会員の増強」「調査研究と相談」「安全・適正就業の推進」「施設の管理と設備の有効活用」「財政の基盤強化」「組織・運営の強化」を重点項目として、事業展開してまいりました。

そのうち、「就業機会の確保」では、瀬戸商工会議所会員へのチラシ配布により受注開拓活動と会員勧誘に努め、結果として、前年度に比して請負・委任事業契約額は約0.7%増加しましたが、派遣事業契約金額は約4.7%減少しました。

請負・委任事業実績については、受託件数は989件、就業延人員は30,647人日となり、契約金額は約138,188千円で前年度より約1,001千円の増額となりました。そのうち配分金の実績は、公共事業で約1,554千円の増、企業等で約484千円の増、一般家庭で約1,223千円の減、独自事業で約16千円の減となり、全体では約799千円の増額となりました。

次に、派遣事業実績については、契約金額が約112,563千円となり、前年度より約5,500千円の減額となりました。

その結果、請負・委任事業の配分金、派遣事業の賃金及び有料職業紹介事業の賃金の合計額は約200,803千円で、前年度の約204,704千円よりも約3,901千円減となり、約1.9%減少しました。

「会員の増強」では、令和7年度末の会員数は504名（男性323名、女性181名）となり、前年度よりやや減少しました。会員の年齢構成につきましては、75歳から79歳が203人と一番高く全体の40.3%、二番目は70歳から74歳が137人で27.2%、三番目は80歳以上が98人で19.4%となり、70歳以上が438人で全体の86.9%を占めています。なお、80歳以上の会員の就業実人員は、男性45人、女性31人となっています。

また、定例の入会説明会に加え、チラシの全戸配布やハローワークとの連携強化など、様々な機会を捉えて広報活動に努めました。さらに、女性会員を増やすための交流会の開催等により女性会員が前年度よりも増え、その比率も35.9%に高まりました。

「安全・適正就業の推進」では、安全就業講習会の開催による事故防止の会員意識の醸成や安全就業パトロール実施の結果、事故件数は前年度比4件減の1件にとどまりました。また重篤事故は起こりませんでした。

「財政の基盤強化」では、昨今の物価高騰等によりセンター運営を取り巻く環境が厳しさを増したことにより、経費節減に努める一方、請負・委任事業と派遣事業の拡大及び新規受注に注力しました。

このような状況に加え、令和8年度から新契約方式へ移行するため、発注者及び会員への周知に努め、発注者の同意を得て準備に取り組みました。